

【大会日程、進行】

- 9 時** 《開場》選手の受付はありませんが、全選手、既定の防具類の不使用、記載の身長、体重などに大きな相違がある場合失格になることがあります。各支部支部長または責任者は運営本部に出場選手人数分の大会パンフレットを受け取り、参加選手に配布して下さい。
- 9 時 30 分** 《午前の部開会式》午前組手試合参加選手 (幼年、小学生) 午前型試合参加選手 (中学生以上) は大道場に集合して下さい。
- 9 時 45 分** 《試合開始》各コート準備ができ次第試合を開始します。型トーナメント戦は小道場Eコートで行うのでご注意ください。また、Eコートの型競技は試合進行状況により、大道場のコートへ試合場が移動になる場合があるのでご注意ください。

型試合の進行に組手試合の進行が追い付かず、午後の部の型競技は進行がストップする可能性があります。その際は組手試合順番を優先致しますので、型のみ参加選手は相手の組手試合が終了するまで待機して頂きます。また、午後の型試合順番は、選手の準備が可能な場合、前後入れ替わる場合もあります。

《午後の部開会式、選手受付はありません》 各コート午前の部の試合が終了後、随時午後の部の試合が開始されます。

《表彰式》 武魂杯表彰式は恒例通り入賞選手全員が特設表彰台に挙がって頂き表彰を行います。入賞選手の家族、関係者は記念撮影ができます。入賞者は各自試合終了後 20 分後には特設表彰台スペース前に集合待機して下さい。 小道場Eコートの型試合の表彰も大道場の特設表彰台で表彰を行いますので、入賞者は移動して下さい。

※表彰はワンマッチは優勝のみ、3 人総当たり戦、7 人以下のトーナメントは準優勝まで、8 人以上のトーナメントは3位 (二人) までとなります。

《大抽選会》 閉会式で行う予定でしたが、混雑を避けるため、各カテゴリー表彰式にて優勝者が随時抽選を行います。参加選手のゼッケン番号が抽選番号となり、当選番号が決定次第番号をボードに貼り出しますので当選者はゼッケン番号を見れば景品をお渡し致します。(一撃商品、パワーストーンプレスレット、Tシャツ、ペンライトタッチペン付きボールペン他 50 品以上総額 10 万円以上の景品がなくなり次第大抽選会は終了となります)

《閉会式》 全体での閉会式はありませんので表彰のない選手は、師範、先生の指示に従い随時お帰り下さい。

《武魂杯M・V・P》 閉会式を行わないため、最優秀選手賞M・V・Pの発表は対象選手が全試合終了後に会場で発表致します。受賞選手不在の場合は該当支部に報告、武魂杯 (カップ) を届けます。

《チャリティー募金》 東日本大震災・平成 28 年熊本地震災害義援金チャリティーは会場物販コーナーにて実施致しますので、皆様ご協力の程、宜しくお願い致します。

18 時～19 時 **《大会終了予定》** 大会運営が長時間になると予測されますが、選手の試合を最優先とし、円滑な大会運営を主催支部スタッフ一同努力致しますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

【特別ルール、注意事項】

本大会は現在の、国際空手道連盟規約、試合ルールが原則ですが、3 人審判制や、型試合ルールなどは本大会特別ルールになりますので、2 ページ、3 ページを熟読して、試合に挑んで下さい。また、大会申し込み時の誓約書通り、大会中の、怪我、病気等の応急処置対応は致しますが、その責任を主催者は一切負いませんので各自の責任を持ってご注意ください。

【観客席、セコンド、応援、試合場サイドスペース】

本大会会場は、参加選手人数に対応できる観客席がありません。観客席、試合場サイドスペースに手荷物等での席取り等は一切禁止とします。席を移動の際は、その都度席を空けて下さい。選手セコンド、応援の試合場サイドスペースの人数制限はありませんが、応援選手の試合が終了次第場所を空けて下さい。

応援、観客の皆様には多大なご迷惑をお掛け致しますが、ご理解、ご協力の程宜しく申し上げます。

【型トーナメント戦について】

型トーナメント戦は、小道場のEコートで試合を行います。学校の体育館の様な板敷の床になります。

また、全体の試合進行状況によっては、午後後半の型試合が大道場（柔道場のため、畳となります）のコートへ試合場が移動になる場合があるのでご注意ください。

同じ型種目を二人同時に競技し主審1名、副審2名による引き分け無しの判定により勝敗が決まります。

※型試合進行に組手試合の進行が追い付かず、午後の型試合は進行がストップする可能性があります、その際は組手試合順番を優先致しますので、型試合のみの出場選手は対戦相手の組手試合が終了するまで待機して頂きます。また午後の型試合順番は、選手の準備が可能な場合、前後入れ替わる場合もあります。

7人以下のトーナメントは、1試合目が準決勝型となる選手が発生します、総当たり戦は準決勝型で対戦し、旗の総数が多い選手2名が決勝型で対戦します、3人引き分けの場合は同様に3人が決勝型で対戦し旗野総数が多い順に優勝、準優勝となります、ここでも引き分けの場合は初級の型で同様に対戦します。

試合進行は下記の通りとなります。

例1、黙想から始まらない型 例え「平安その2」

《アナウンス》「白、ゼッケン 350 番横浜太郎!」「赤、ゼッケン 351 番川崎太郎!」それぞれ入場。

《主審》「正面に礼!主審に礼!お互いに礼!」「正面、向いて!」

「平安その2、用意! 始め!」選手二人それぞれ無号令で、各自のペースで型を開始しそれぞれ型競技終了後、なおれ一、休め、まで各自のペースで行います。二人競技終了次第、

「判定取ります!判定!」「赤1、白1、主審白!」「正面礼! 主審に礼! お互いに礼! 握手!」で選手退場します。

例2、黙想から始まる型 例え「突きの型」

《アナウンス》「白、ゼッケン 355 番東京太郎!」「赤、ゼッケン 356 番大阪太郎!」それぞれ入場。

《主審》「正面に礼!主審に礼!お互いに礼!」「正面、向いて!」

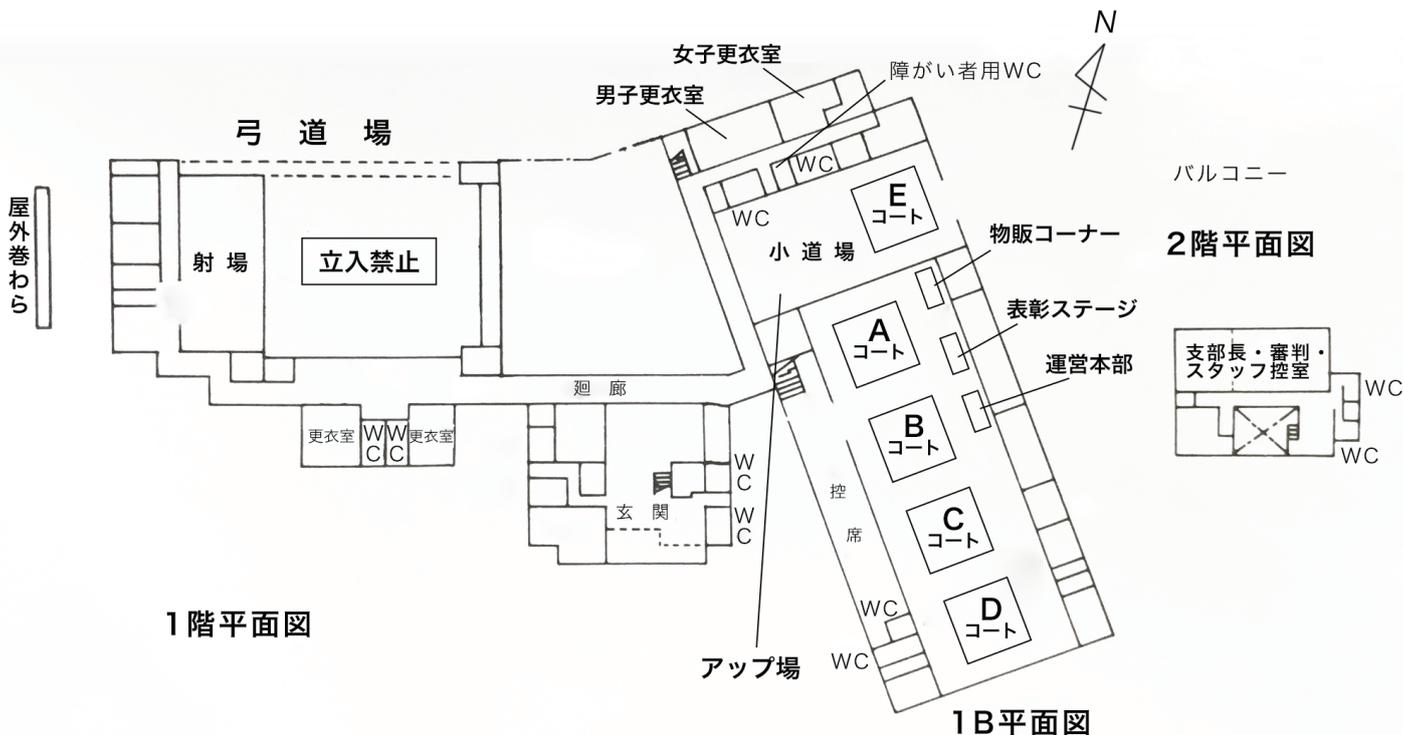
「黙想!突きの型 用意! 始め!」選手二人それぞれ無号令で、各自のペースで型を開始しそれぞれ型競技終了後、なおれ一、休め、まで各自のペースで行います。二人競技終了次第、

「判定取ります!判定!」「赤1、白1、主審白!」「正面礼! 主審に礼! お互いに礼! 握手!」で選手退場します。

【大会会場案内図】

《注意事項》観客席、試合場サイドスペースで、手荷物を置いたり、席取りは一切禁止です。応援する選手が出場の時間以外は、小道場の観客待機場をご利用下さい。

1階射場、天場、2階剣道場は立ち入り禁止です。当日は他団体の利用もあるのでご配慮下さい。



組手、型 全試合審判 3 人制で行います！

660 人を超える選手参加となり、5 コートの試合場で全ての試合を 1 日で行う対策としまして審判の儀礼挨拶なし、審判の旗コール、勝敗の判定、1 本、技有り、注意、減点、すべて省けるコールは無しで試合進行致します。審判 3 人制も含め上記に類似した、試合進行制度が今後の極真会館の地区大会以下（関東大会、県大会）に採用されることも検討され、本大会はその実用実験的な意味合いもあります。

2 人の副審、主審 1 人のため、有効決定旗数は 2 本以上となります。

【組手試合時間】

男女 幼年チャレンジマッチ	本戦1分で決着
男女 男女 幼年以外のすべてのチャレンジマッチ	本戦 1 分 3 0 秒で決着(延長戦無し)
男女 幼年～高校生、壮年の ビギナーズ A, A A, S, S S	本戦1分30秒、延長1分30秒で決着
男女 一般ビギナーズ A, A A, S, S S	本戦 2 分、延長2分で決着

※チャレンジマッチ以外のビギナーズ戦（混合含む）は延長戦ありになっておりますが、試合進行上止むを得ず、極力本戦決着を審判団に指示しますので、選手はご留意の上、本戦から全力勝負で挑んで下さい！

【組手試合防具規定】

カテゴリー	防具着用規定(選手持参)
幼年、小学生、中学生の全てのカテゴリー	拳サポーター、脛サポーター、膝サポーター、 ヘッドガード(イサミCKW-10、TT-25) 上記全て公認品、帯留め任意(公認品) 中学生はフェイス金網のない公認ヘッドガード、 歯科医作成のマウスガード着用
高校生、一般、壮年の全てのカテゴリー	一撃オープンフィンガー、脛サポーター、膝サポーター、 ヘッドガード、マウスガード(公認品) 上記全て公認品、帯留め任意(公認品) (壮年50歳以上は拳サポーター、胴プロテクター着用 〈主催者用意〉) 高校生のマウスガードは歯科医作成品 可、一般、壮年は公認品着用
全ての男子	既製品のファールカップを空手着の中に着用
小学4年生以下の女子	公認品の胸パット、下腹部ガードを任意で着用可
小学5年生以上の女子	公認品の胸パット、下腹部ガードを着用
全ての女子	Tシャツは白の無地を着用

※上記、規定の防具が着用されない場合は失格となります。

※空手着には氏名を明記。ワッペン、氏名（一撃）以外の刺繍禁止。腕まくり禁止。

※選手呼び出し係はいませんので、各選手は自分の試合の 5 試合前には出場コート出場コーナー（ゼッケン番号の少ない方が白コーナー、多い方が赤コーナー）にて待機して下さい。（型、組手両方出場の選手のゼッケン番号は共通ゼッケン番号のため、上記の限りではありません）選手呼び出しアナウンスコールがあっても不在の場合は失格となる事があります。

※単なる予防のためのテーピングは禁止です。必要な選手は大会医事委員の承諾必要。